

大阪府立大学学長 辰巳砂 昌弘 様

大阪府立大学 2 0 2 0 年度

前期授業および後期授業に関する

要望書および学生アンケート結果報告書

大阪府立大学

なかもず・りんくうキャンパス学生自治会

中央執行委員会

加藤 鉄馬

第一章

要望書

大阪府立大学は昨今の COVID-19（新型コロナウイルス）の世界規模での蔓延と、これに対する日本政府からの特別措置法に基づく「緊急事態宣言」を受け、ウイルスの感染拡大を防止すべく、今年度前期授業において原則オンライン形式による遠隔授業を展開しました。しかしながら、この度の対応は懸念事項の多さゆえに万全なものとは言いがたく、結果として学生は様々な不利益を一方的に被ってしまった状態となっています。学生自治会としては、窮状に苦しむ学生の生活をわずかでも改善するため、大学当局においては「前期授業および後期授業に関する学生アンケート」（以下、学生アンケート）を集約して得られた下記の各要望に鑑み、真摯かつ迅速に対応されることを切に希求するところがあります。

【要望内容】

- ① 今年度前期授業期間における学校設備維持費を一部返還すること。あるいは、今年度後期授業期間における図書館等の学校施設を開放すること。
- ② 今年度後期授業料を一律減額すること。
- ③ 遠隔授業に関して全教員に対するマニュアルを改善すること。要件として、以下4点を組み入れること。
 - ・同期型の授業の場合は機能性（音質、画質等）、信頼性（プライバシー保護等）の確保されたアプリケーションを全学においてひとつ指定
 - ・非同期型の授業の場合は PDF 等資料のみ配信の授業は原則禁止とし、これに加え内容の理解を助けるのに十分な音声ないし動画の配信の義務化、これらのアップロード先もまた全学においてひとつ指定
 - ・授業の一環として課する課題の分量の、「受講する学生の提出するすべての課題に対し、必ず的確なフィードバックを行うことができる」ものへの加減
 - ・期末試験等を行う際は対面での実施を原則禁止とし、試験内容を遠隔での実施に適したものへの調整

【詳説】

- ① 大阪府を含む7都府県に対し政府より緊急事態宣言が発令されていた当時においては、大学当局による学校設備の利用制限は妥当な判断であり、結果として学内における爆発的な感染拡大は避けられたものと思われます。しかしながら、これにより本学

に籍を置くすべての学生に与えられているはずであった学校設備利用の権利は制限されながらも、今年度前期授業期間における学生の出費は例年のものと同様の額となっていてしまっています。むしろ、授業を受ける上でコピー機による印刷が必要とされた学生においては、学生アンケートによると多いものでは前期授業期間中に二万円もの印刷費が必要とされており、例年以上の出費に苦しめられています。

設備の制限については避けられない事態ではありましたが、これに際して例年通りあるいは例年以上の出費を余儀なくされている学生が存在し、彼らが補償を必要としていることは明白であります。よって、学生の経済状況を改善すべく前述の前半の内容を、あるいはこれが困難であると判断された場合においては、せめて学生の今後の学習をより実りのあるものとするべく、感染対策を十分に講じた上での前述の後半の内容を要望するものであります。

- ② 今年度前期授業において展開されたオンライン形式による遠隔授業に関して、科目ごとの詳細な授業形式と、その満足具合を学生アンケートにて尋ねたところ、実に53.5%もの学生が「不満」あるいは「どちらかといえば不満」と回答する結果となりました。危急の状況下での授業展開ではあったものの、そのクオリティは例年の授業形式と比較するといささか低いものであると考えざるを得ません。これを省みて後期授業においては授業形式等にある程度の改善が期待されますが、例年と同様の学習機会が担保されるものとは限りません。そうした不満のなか、学生は低調な学習意欲をもって後期授業に臨むことになり、真に満足な学びを得られることが難しくなるものと予想されます。よって、授業を通して提供されるものへの対価を学生が納得して支払うことができるようにするべく、前述の内容を要望するものであります。

- ③ 学生アンケートによって得られた遠隔授業に関する懸念や改善案は多数存在しております。その中でも、以下の意見が多く、多くの学生にとって共通の懸念点であります。

- ・同期型授業に関して、講義によって異なるアプリケーションの使用が求められ、混乱している
- ・非同期型授業に関して、内容の理解に十分でないPDF等資料のみを配信し、詳細な学習の一切を各学生に委ねるような授業が存在する
- ・授業ごとに課される課題の分量が過剰である上に、適切なフィードバックが行われていない
- ・遠隔授業が展開されてきたというのに期末試験に関しては大学に登校の上、対面形式にて実施されるため、学内に限らず通学の道中においても感染の可能性が懸念されるうえ、通学に時間を要する学生においてはスケジュール管理にも支障をきたしている

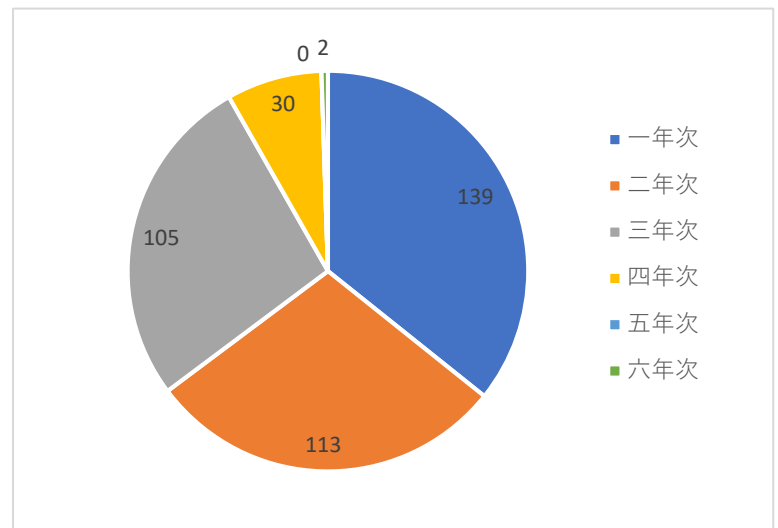
よって、教員に対する遠隔授業の規範を改善し、円滑な授業を確実なものとするべく、前述の内容を要望するものであります。

第二章

本アンケートの全回答数分布報告

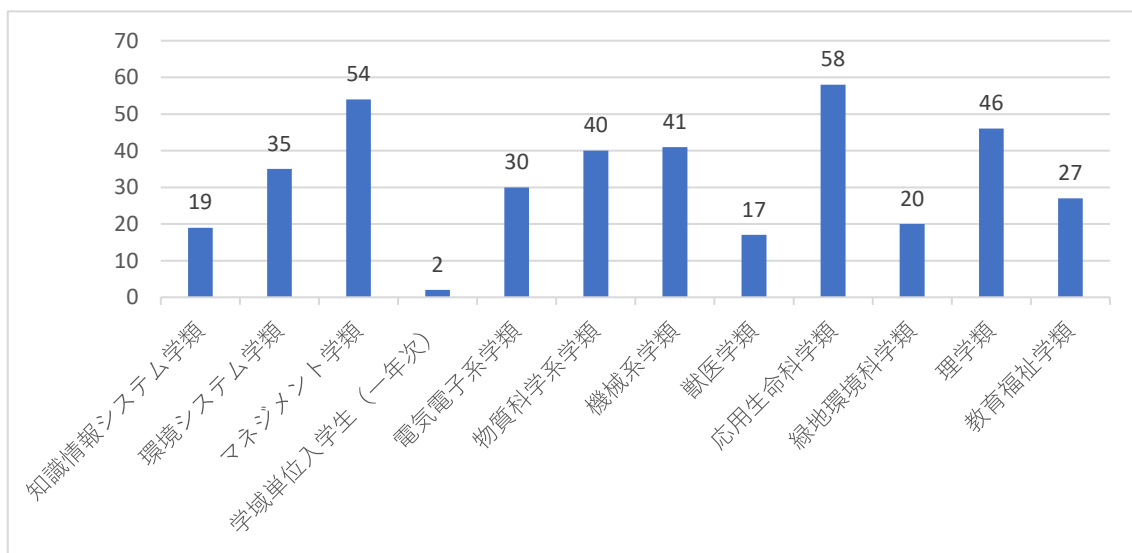
1) 学年ごとの回答数

年次	回答数
一年次	139
二年次	113
三年次	105
四年次	30
五年次	0
六年次	2



2) 学類ごとの回答数

学類	回答数	学類	回答数
知識情報システム学類	19	機械系学類	41
環境システム学類	35	獣医学類	17
マネジメント学類	54	応用生命科学類	58
学域単位入学生（一年次）	2	緑地環境科学類	20
電気電子系学類	30	理学類	46
物質科学系学類	40	教育福祉学類	27



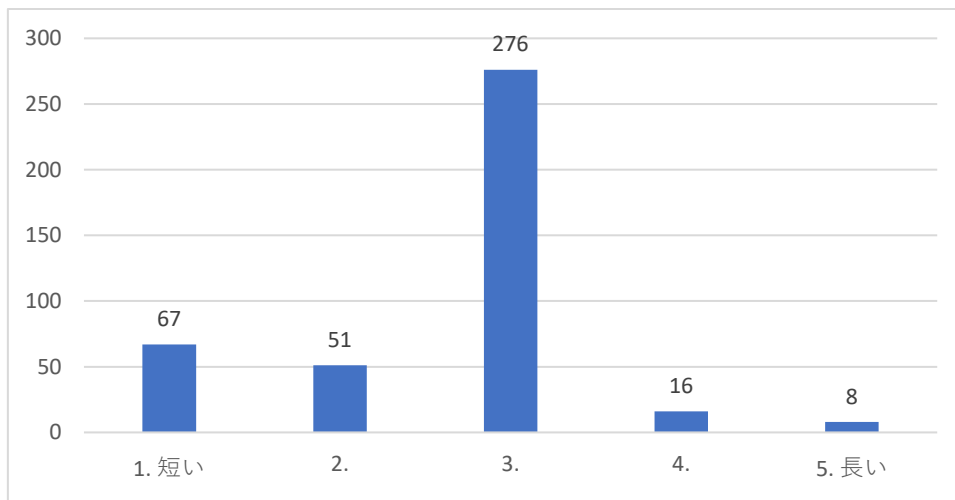
第三章

2020年度前期授業および後期授業に関する 学生アンケート結果報告

○前期オンライン授業に関して

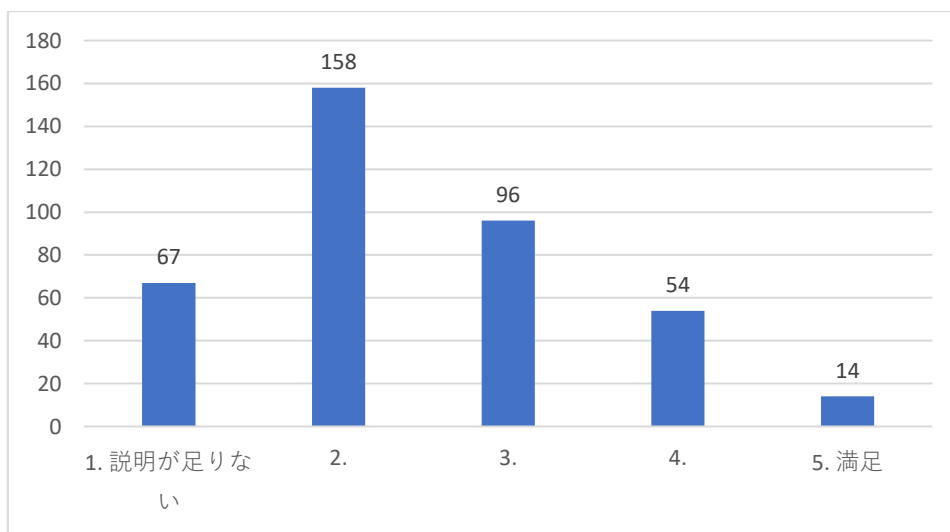
Q1. 授業申請期間は十分でしたか？

(1. 短い から 5. 長い による五段階評価)



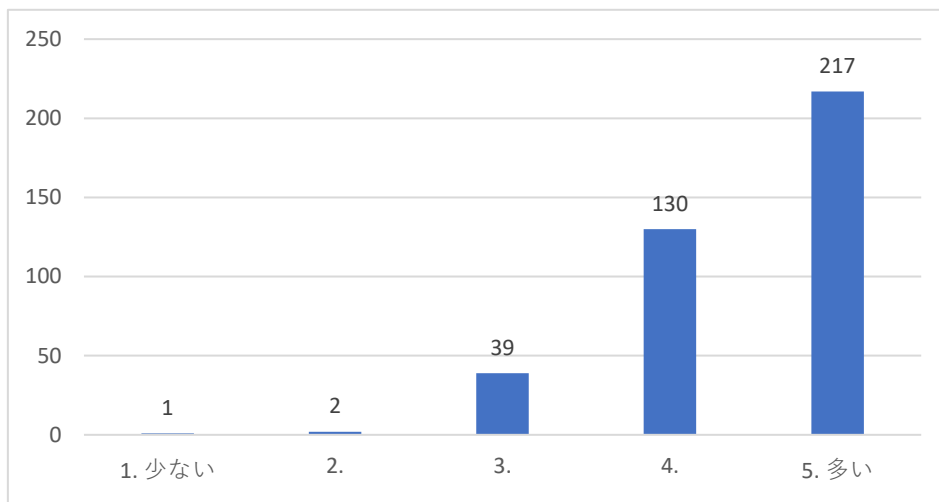
Q2. 授業内容はいかがでしたか？

(1. 説明が足りない から 5. 満足 による五段階評価)



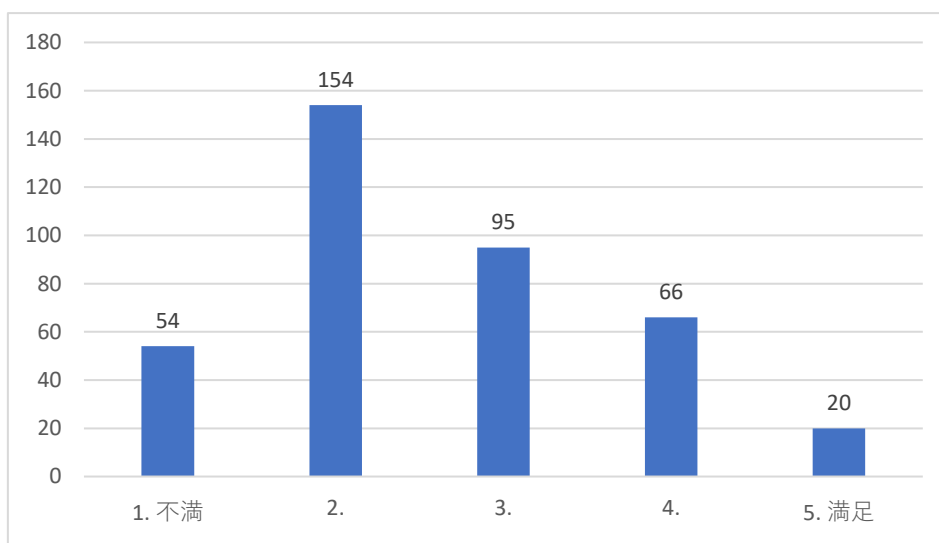
Q3. 課題の量は十分でしたか？

(1. 少ない から 5. 多い による五段階評価)



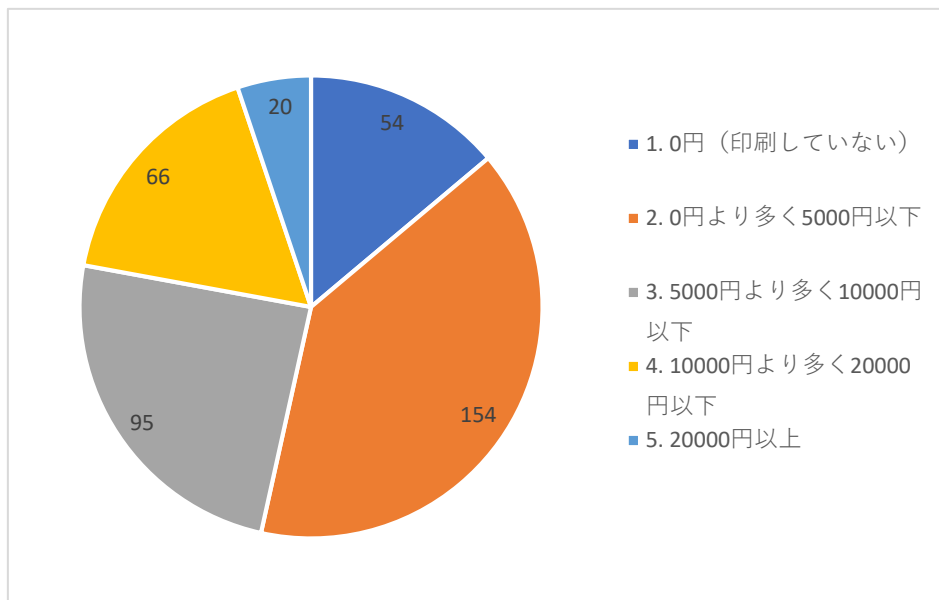
Q4. 総合的に前期授業の評価はいかがですか？

(1. 不満 から 5. 満足 による五段階評価)



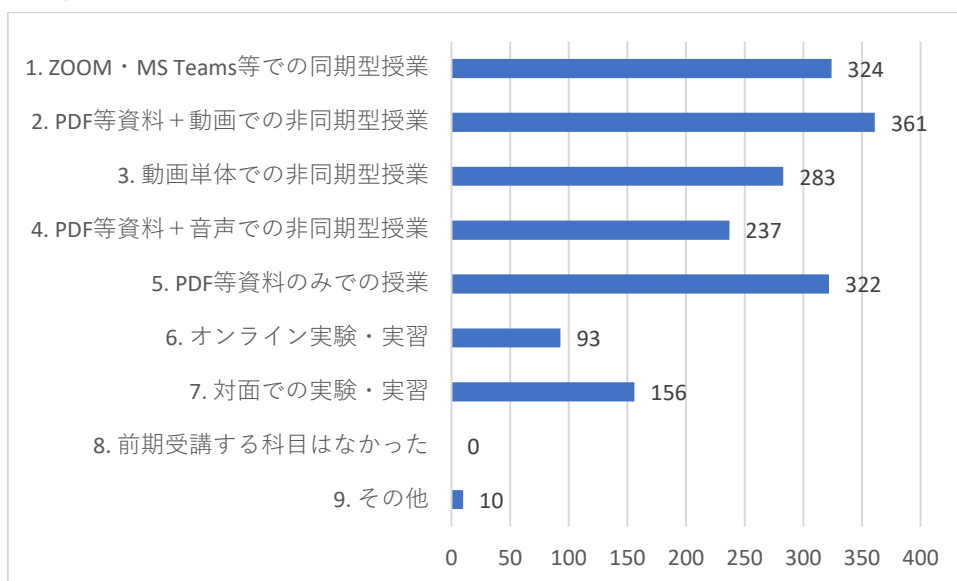
Q5. 前期全体で授業資料や課題のための印刷費はいくらかかりましたか？

1. 0円（印刷していない）
2. 0円より多く 5000円以下
3. 5000円より多く 10000円以下
4. 10000円より多く 20000円以下
5. 20000円以上



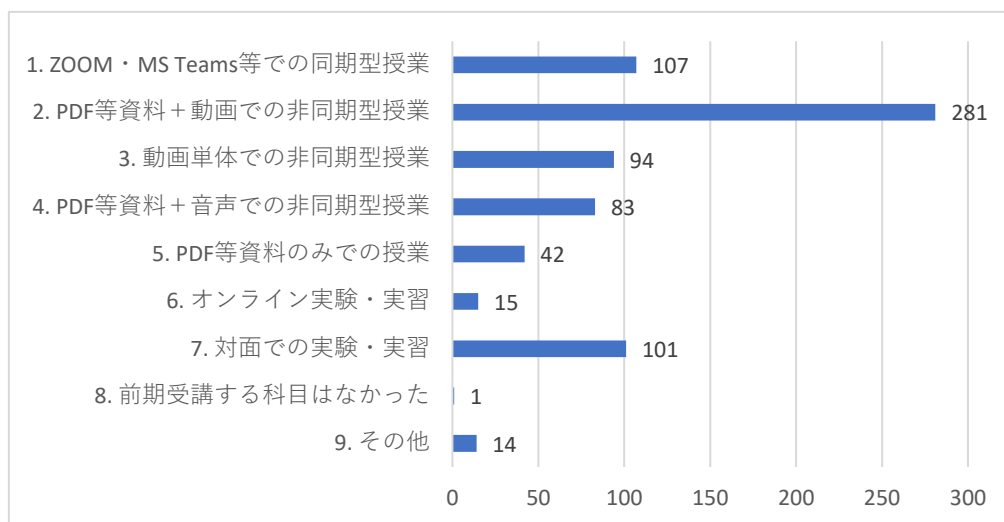
Q6. 前期受講した形式をすべて教えてください

1. ZOOM・MS Teams等での同期型授業
2. PDF等資料+動画での非同期型授業
3. 動画単体での非同期型授業
4. PDF等資料+音声での非同期型授業
5. PDF等資料のみでの授業
6. オンライン実験・実習
7. 対面での実験・実習
8. 前期受講する科目はなかった
9. その他



Q7. 前期受講してよかった形式をすべて教えてください

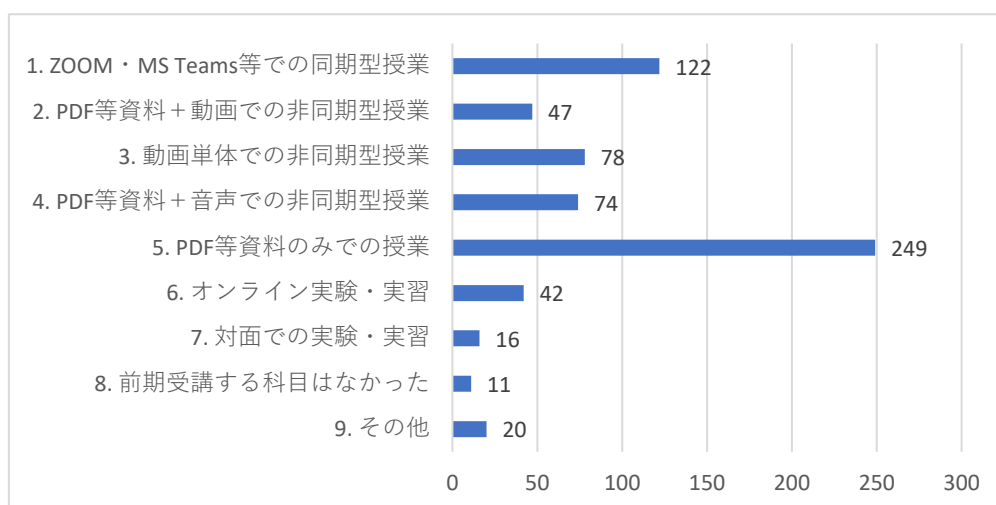
1. ZOOM・MS Teams等での同期型授業
2. PDF等資料+動画での非同期型授業
3. 動画単体での非同期型授業
4. PDF等資料+音声での非同期型授業
5. PDF等資料のみでの授業
6. オンライン実験・実習
7. 対面での実験・実習
8. 前期受講する科目はなかった
9. その他



Q8. よろしければ理由を教えてください（第四章参照）

Q9. 前期受講して不満のある形式をすべて教えてください

1. ZOOM・MS Teams等での同期型授業
2. PDF等資料+動画での非同期型授業
3. 動画単体での非同期型授業
4. PDF等資料+音声での非同期型授業
5. PDF等資料のみでの授業
6. オンライン実験・実習
7. 対面での実験・実習
8. 前期受講する科目はなかった
9. その他

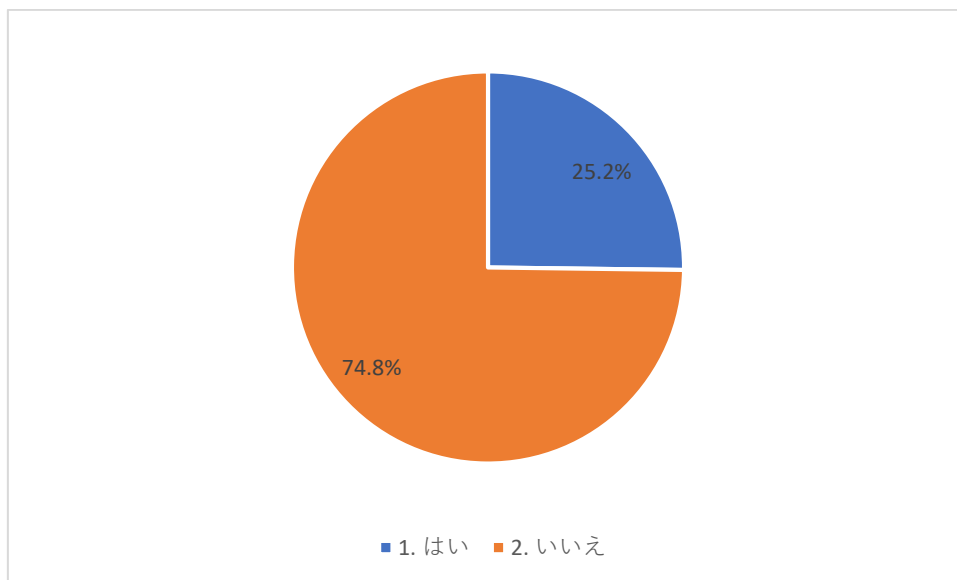


Q10. よろしければ理由を教えてください（第四章参照）

Q11. その他前期授業、実験などでの感想・改善点を教えてください（第四章参照）

Q12. 考査スケジュールは他教科や通学などにおいて十分に配慮されていましたか？

1. はい 2. いいえ

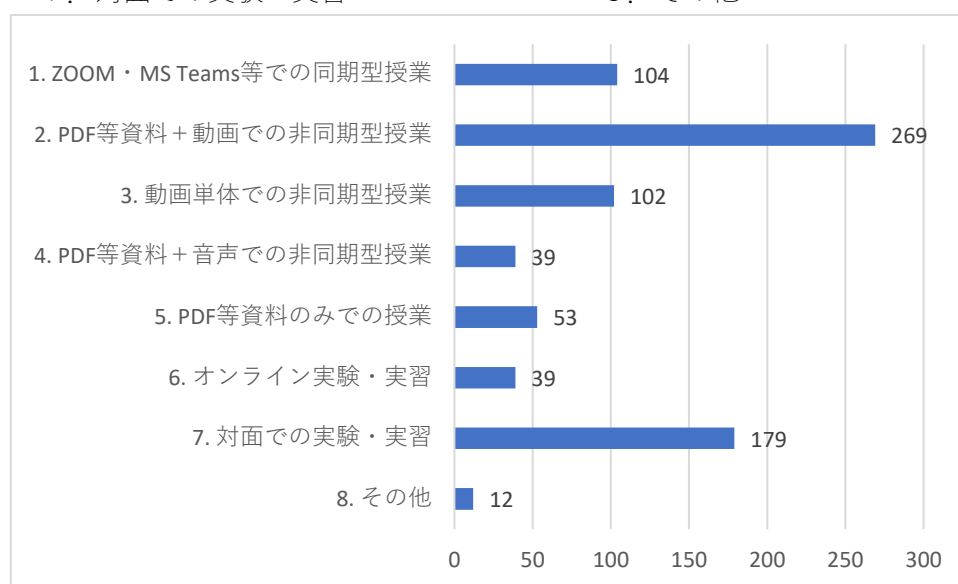


Q13. その他前期授業での感想があればご記入ください。（第四章参照）

○後期授業に関して

Q14. 後期受講したい形式を教えてください。

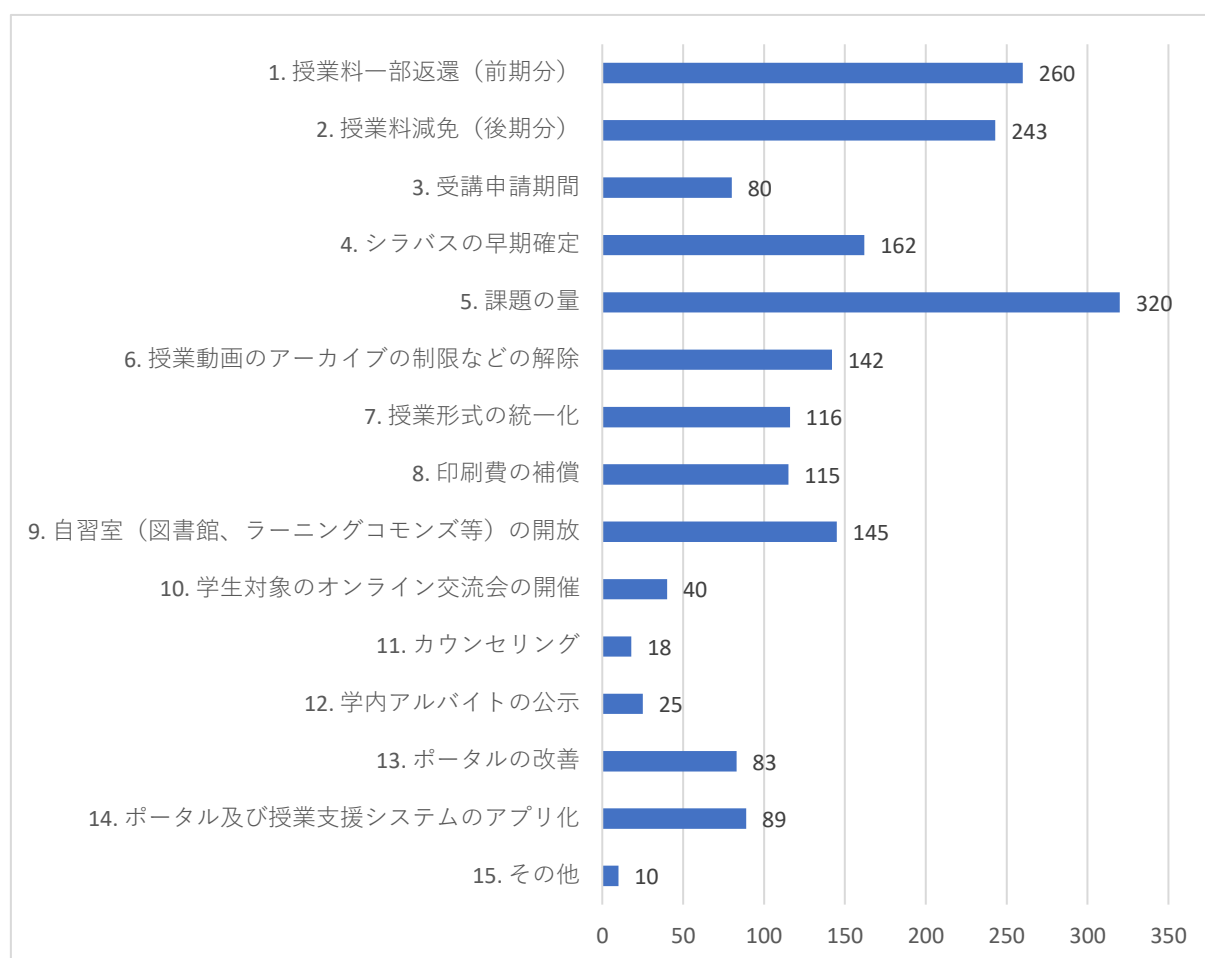
- | | |
|--------------------------|----------------------|
| 1. ZOOM・MS Teams等での同期型授業 | 2. PDF等資料+動画での非同期型授業 |
| 3. 動画単体での非同期型授業 | 4. PDF等資料+音声での非同期型授業 |
| 5. PDF等資料のみでの授業 | 6. オンライン実験・実習 |
| 7. 対面での実験・実習 | 8. その他 |



Q15. よろしければ理由を教えてください（第四章参照）

Q16. 後期にて配慮すべき又は改善点があればお選びください。

1. 授業料一部返還（前期分） 2. 授業料減免（後期分）
3. 受講申請期間 4. シラバスの早期確定
5. 課題の量 6. 授業動画のアーカイブの制限などの解除
7. 授業形式の統一化 8. 印刷費の補償
9. 自習室（図書館、ラーニングコモンズ等）の開放
10. 学生対象のオンライン交流会の開催 11. カウンセリング
12. 学内アルバイトの公示 13. ポータルの改善
14. ポータル及び授業支援システムのアプリ化 15. その他



Q17. その他後期授業において要望などございましたらご記入ください。（第四章参照）

○その他

Q18. その他において大学当局に質問や要望、提案等ございましたらご自由にご記入ください。（第四章参照）